

区民の願いにこたえ、がんばります

日本共産党
豊島区議団ニュース

第3号 二〇〇七年十一月二十五日発行

2007年11月25日発行 第3号
発行所
日本共産党豊島区議団
東京都豊島区東池袋1-18-1
豊島区役所内
TEL(3981)1429 FAX(3590)4650

第3回定例区議会が終了しました。

第3回定例区議会が9月21日から36日間の日程で開催されました。日本共産党区議団は、渡辺、森の両議員が一般質問に立ちました。決算については区民需要に応えず、大型開発を推進する決算の認定に反対しました。また、テロ特措法延期中止や沖縄戦の教科書検定問題、後期高齢者医療制度見直しを求める意見書などの提出に奮闘しました。

渡辺くみ子議員が一般質問

渡辺くみ子議員は「増税と医療改悪から、区民のいのちと暮らしを守る区政を」と題して一般質問をおこないました。



消費税増税に反対せよ

渡辺議員は、政府与党が消費税増税に踏み出そうとしている今、「増税はさらに区民に負担増を押し付けるもの」として、区長に反対の意志表明を強く求めました。しかし区長は「政府が決めるもの」と反対を拒否しました。介護保険料の引き下げなど軽減策の検討を「2年間で住民税が20倍になった。ぜひ軽

減を」と訴える区民の声を紹介し「住民税の軽減策は待ったなし」と実施を求めました。区長は「実施する考えは無い」と答弁しましたが、税制改悪で影響を受けた施策について08年度予算で軽減策を検討する、また介護保険料は09年度に見直す」と答弁しました。

後期高齢者医療制度の見直しを国に求めよ

次に08年4月から始まる後期高齢者医療制度について「高い保険料、資格証の発行など

多くの問題があり、このまま実施すれば大きな混乱が生じる。国に凍結、見直しを求めるべき」、特に保険料については「案では年間10万円を超え、介護保険と合わせれば一ヶ月2万円以上になる人もいる。75歳以上では年200万円未満の年金生活者は75%もいる。これでは保険料を納められず、資格証では治療も受けられない高齢者がうまれる」と、保険料の区独自の減免制度の

実施と、資格証の発行をやめるよう求めました。副区長は「保険料の区独自の減免制度はやらない」、資格証については、「慎重を期

してまいりたい」と答弁しました。最後に特定健診について「地方自治体の役割は全区民のいのちと健康を守る」とし

て、希望者にはがん検診を含め無料で実施すること、特定保健指導制度は、個人情報保護の観点から民間委託をやめるよう質しました。

森とおる議員が一般質問



計画は廃止せよ③各国政府に核兵器廃絶への共同を求める非核日本宣言運動に賛同すべきと区長の姿勢を質しました。

区長は「国の問題」

などと後ろ向きの答弁に終始し、平和を願う区民とはかけはなれた姿勢でした。

公衆浴場支援策を

森議員は、現在38軒となった公衆浴場の減少に歯止めがかからないことを取り上げまし

豊島区から

平和の発信を

自公政府により平和がおびやかされているとして、区は平和の行動を取るように①テロ特措法延長に反対せよ②対テロを口実に国民を強制動員し、米国と共に戦争への道を進む国民保護法に基づいた

た。区の1軒あたりの予算は23区中ワースト2位と指摘、浴場組合の要望に耳を傾け、高齢者入浴券創設など抜本的に予算を増額すべきと質しました。副区長は、子どものいる生活保護世帯の入

浴券については検討すると答弁しましたが、他の具体策は示しませんでした。

都立大塚病院の存続を

都は、大塚病院の「独立行政法人化(民営化)」を進めており、医療の後退は必至です。森議員は「都立のまま存続するよう区長は全力をあげるべき」と質しました。

区長は、存続について積極的に働きかけていくと答弁しました。

中央図書館移転後の

問題点

点字図書館開館時間の延長、無料専用駐輪場の確保等を質問。教育長は、サービスマスを工夫すると答弁しましたが、駐輪場確保は拒否しました。

06年度決算認定に反対

日本共産党

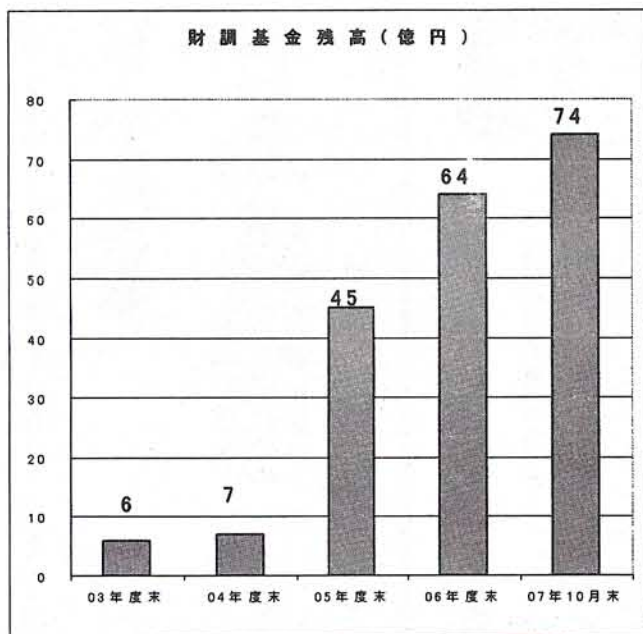
日本共産党区議団は、06年度一般会計決算、国民健康保険会計決算、老人保健医療会計、介護保険会計に反対しました。決算特別委員会では、かきうち信行、渡辺くみ子、森とおる議員が審議にあたり、森議員が討論を行いました。

区民需要にこたえていない

2006年度は、政府の構造改革により定率減税の半減や高齢者控除の廃止、公的年金控除縮小等で、高齢者は大負担増となりました。そのために住民税が10倍となった人もおり、国民健康保険料、

介護保険料等も引き上げられました。区は財政難を口実に「行財政改革プラン」を強行。区民サービスを大幅に削減したことと税収増で、3年連続黒字となりました。黒字になった分を自動的

に積み立てる仕組みを作り、7億円程度だった財調基金は、今では74億円と急増しました。(グラフ参照)



区議団は、黒字であるならば、困った区民の救済策、緊急性のある施策を優先すべきであり、基金のためこみや借金返済を優先すべきではないと質しました。

区議団は審査の中で①住民税の軽減策実施については否定し続けている②公園のトイレの故障は放置され、利用者が危険にさらされている③緊急通報システム導入に制限をつけて高齢者施策を減少している④障害者自立支援法により負担増に苦しむ方への軽減策は不十分⑤公営住宅不足や住宅施策を後退させている⑥教育費を削減し保護者の私費負担が増大しているにもかかわらず補助を戻そうともしない⑦保育園待機児

問題が放置されている⑧学童クラブと子どもスキップ導入により、放課後対策が後退している⑨中小企業支援や

大型開発が優先されている

その一方で、区の重点政策として都市再生が大きく位置づけられています。東池袋四丁目再開発は、当初区の負担はないとされていたにもかかわらず、多額の税金が投入され、多くの住民が追い出されました。そこに完成した「あづるすぽと」は、これまで区議団が指摘したように区民の利用が主目的とはなっていない。使用料は高く、日数を多く予約

不況対策に着手せずに先送りしていること等を指摘し、区民需要に応えていないことを批判しました。

西デッキ等は、重点課題として進めています。これらの理由で一般会計決算の認定に反対しました。

特別養護老人ホーム待機者が増加し、保険料値上げやサービス削減の介護保険事業会計の三特別会計の認定にも反対しました。



3特別会計に反対

反対

徴収を強化しながら、保険料を払えない人への資格証発行を増やしている国民健康保険事業会計、医療改悪を進める老人保健医療会計、

公園のトイレの故障が放置されていました。指摘後改修中です



○は可決(採択、不採択、継続)に賛成 ×は可決(採択、不採択、継続)に反対

主な会派	結果	自民党	民主・区民	公明党	日本共産党
意見が分かれた主な議案等					
平成18年度一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業会計歳入歳出決算、老人保健医療会計歳入歳出決算、介護保険事業会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	×
廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例一部改正(事業系ゴミ値上げ)	可決	○	○	○	×
知的障害者援護施設の指定管理者の指定	可決	○	○	○	×
公衆浴場に関する陳情(お風呂を守る陳情)	継続審査	○	○	○	×
テロ特措法の期限を延長せず、真の国際協力の実現を求める意見書	可決	×	○	×	○
年金保険料を年金支給以外の費用としないことを求める意見書	可決	×	○	×	○
「沖縄戦」をめぐる教科書検定に関する意見書	可決	×	○	○	○

◎事業系「三」

事業系一般廃棄物処
なります。

理事手数料の値上げ条例が、都市整備委員会で審査されました。

森とおる議員は「中小事業者や商店の営業に大きな影響を及ぼし

条例が可決されると、事業系ゴミ45リットル券1セット（10枚）は310円の値上げ、粗大ゴミ70キロ（大型タンス等）は300円の値上げに決されました。

豊島区内で、これまでもなら建たないような高さのマンションが次々と計画され、近隣住民と陳情が四件もだされ、都市整備委員会で審査全会一致で採択されました。

との間で紛争になって
います。今議会にはマ
ンション問題の請願・
審査の中で、森とお
る議員は、「規制緩和」
路線で、マンションの



「公衆浴場に関する」

陳情」が区民厚生委員
会（河野たえ子委員長）
で審議されました。

この陳情は①公衆浴場への支援策の拡充②



生活保護の入浴券の拡充③ふれあい入浴デーの無料化を求め、豊島区社会保障推進協議会（三上満会長）から出されたものです。

渡辺くみ子議員は「区は、公衆浴場への補助金を毎年10%削減してきた。結果38箇所に激減。タクシーでお風呂に通う区民もいる。

されたものです。

渡辺くみ子議員は「区は、公衆浴場への補助金を毎年10%削減してきた。結果38箇所に激減。タクシーでお風呂に通う区民もいる。

◎割賦販売法の抜本的 書

改正を求める意見書

◎原爆症認定制度の抜本的な改善を求める意見書

◎年金保険料を年金支給以外の費用としないことを求める意見書

◎「沖縄戦」をめぐる

◎後期高齢者医療制度
の国庫負担引き上げを

教科書検定に関する意見書



沖縄戦の教科書検定意見についてなど

蓄次々と

今定例会は日本共産党区議団が、後期高齢者医療制度の見直しや沖縄戦の教科書検定意見に関する意見書の提出に奮闘。テロ特措法の延期中止を求める意見書については自民、公明が反対しましたが、僅差で可決されるなど、区議会では新たな変化が生まれませんでした。

ぐる教科書検定意見に関する意見書」では、沖縄出身の儀武さとの議員が、幼い頃から両親に「米軍より日本の軍隊が怖かった。壕の中で赤ん坊が泣きだしたら、毛布にくるんで殺された。もう戦争はごめんだ」と言われた体験を交えて、「悲惨な『集団自決』強制を体験し、語り継

ちにとつて身をちぎられるような歴史の歪曲であり、絶対許せるものではない」と可決を求め、賛成討論。自民党のみ反対で可決されました。

また、「テロ特措法の期限延長せず、真の国際協力の実現を求める意見書」は小林ひろみ議員が「テロは戦争ではなくせない」と賛成討

「『沖縄戦』をめぐって」

ぐる教科書検定意見
に關する意見書」で
は、沖繩出身の儀武
さとの議員が、幼い
頃から両親に「米軍
より日本の軍隊が怖
かった。壕の中で赤
ん坊が泣きだしたら、
毛布にくるんで殺さ
れた。もう戦争はご
めんだ」と言われた
体験を交えて、「悲
惨な『集団自決』強
制を体験し、語り継
いできた沖繩の人た
ちにとつて身をちぎ
られるような歴史の
歪曲であり、絶対許
せるものではない」
と可決を求め、賛成
討論。自民党のみ反
対で可決されました。
また、「テロ特措
法の期限延長せず、
真の国際協力の実現
を求める意見書」は
小林ひろみ議員が
「テロは戦争ではな
くせない」と賛成討
論を行いました。

怒りを呼ぶ

「後期高齢者医療制度」は撤回を



10月22日池袋西口で宣伝する区議団
左から、河野、かきうち、儀武、小林の各区議

世界にも類を見ない高齢者への医療差別である後期高齢者医療制度の全体像が明らかに becoming につれ、区民の怒りが広がっています。区議団は、9月13日にシンポジウムを開催。百人をこす参加者からたくさん質問・意見が出されました。10月22日には、池袋西口駅前街頭宣伝と署名活動を展開。通行人の共感を呼びました。各議員地域でも勉強会、

ハンドマイク宣伝、署名活動と様々な活動を行っています。区議団は、高い保険料を引き下げるには、国の財政負担を増やす以外ないと主張。国への「意見書」を全会派一致で提出しました。区議会では制度の報告がされましたが、関心の高い保険料額が不確定でした。

11月2日広域連合から20日に開かれる広域議会に提出する「保険料額」(素案)が示されました。それによると一人当たり平均保険料は、102,900円(月額8575円)となっています。

当初示された額より、低くなったものの、それでも高齢者にとつては、高い保険料です。制度を作った与党も世論に押され、一部凍結を言い出しています。区議団は、撤回するまで全力をあげて頑張ります。

選挙力ー燃料代水増し疑惑

自民・公明・無所属ら

4月の区議選で使われた選挙カーのガソリン代(燃料費)の公費負担を水増し請求した疑いで、9区議候補(6名は現議員)に対し、区に返還を求めた監査請求が受理されました。この問題が、マスコミに取り上げられ

た時点で、日本共産党のかきうち議員は、監査請求された区議(候補)の氏名を明かすことになった。11月12日に開催された議員協議会で、自民党4名、公明党3名、無所属2名が対象となつて、氏名が明らかにされました。公表は拒否しました。かきうち議員は、「議員自らが疑惑の全容を明らかにすべき」と主張しました。

車椅子での本会議傍聴が出来ます

車椅子を利用している障害者の方から「本会議を傍聴したい」という申し出がありました。日本共産党区議団

が要請した結果、議場

の一部に車椅子用のスペースが作られ、安心して傍聴できるようになりました。

第4回定例会が始まりました

主な日程は次のとおり。一般質問は、小林ひろみ議員、渡辺くみ子議員が行います。

11月22日	本会議初日	7日	最終本会議
11月28日	一般質問	12月3日、4日、5日	予備日
29日	常任委員会		
30日	常任委員会		

ご意見、ご要望をお寄せください

日本共産党豊島区議団

TEL(三九八)二四二九



渡辺 くみ子
区民厚生委員会
委員



かきうち 信行
子ども文教委員会
委員長



河野 たえ子
区民厚生委員会
委員長



ぎぶ さとる
総務委員会委員



小林 ひろみ
総務委員会委員



森 とおる
都市整備委員会委員